

# Makita

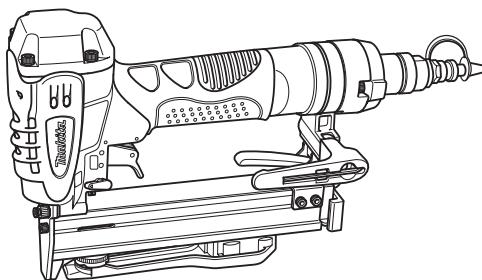
ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## 高圧エアタッカ

4mm モデル AT425HA

10mm モデル AT1025HA



このたびは**高圧エアタッカ**をお買い上げ  
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく  
お読みいただき本機の性能を十分ご理解  
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい  
ただいて、いつまでも安全  
に能率よくお使いくださる  
ようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお  
手元に大切に保管してくだ  
さい。






# 主要機能

| 主要機能 \ モデル           | AT425HA                                       | AT1025HA       |
|----------------------|---|----------------|
| 使用空気圧力               | 1.76 ~ 2.26MPa (18 ~ 23 kgf/cm <sup>2</sup> ) |                |
| 使用ステーブル (mm)         | 13、16、19、22、25                                | 13、16、19、22、25 |
| ステーブル装てん数            | 100本  |                |
| 質量                   | 1.2kg   |                |
| 本機寸法                 | 長さ 312mm × 幅 75mm × 高さ 177mm                  |                |
| 使用ホース内径              | φ 5.0mm 以上                                    |                |
| レギュレータ (減圧弁) の打ち込み調整 | ⑦以下   |                |

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
  - ・ 本機の取扱知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
    - 疲れているとき、身体が不調なとき。
    - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステーブル打ち作業をしてください。
  - ・ 装着しないと打ち損じのステーブルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
  - ・ ステーブルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステーブル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接等の改造をしないでください。
  - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
  - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は 1.76 ~ 2.26 MPa (18 ~ 23 kgf/cm<sup>2</sup>) の範囲内で使用してください。
  - ・ 高過ぎる圧力は、本機損傷による事故の原因になります。
9. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
  - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
10. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
  - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
11. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
  - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
12. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
  - ・ 打ち損じのステーブルがあたりけがをする原因となります。

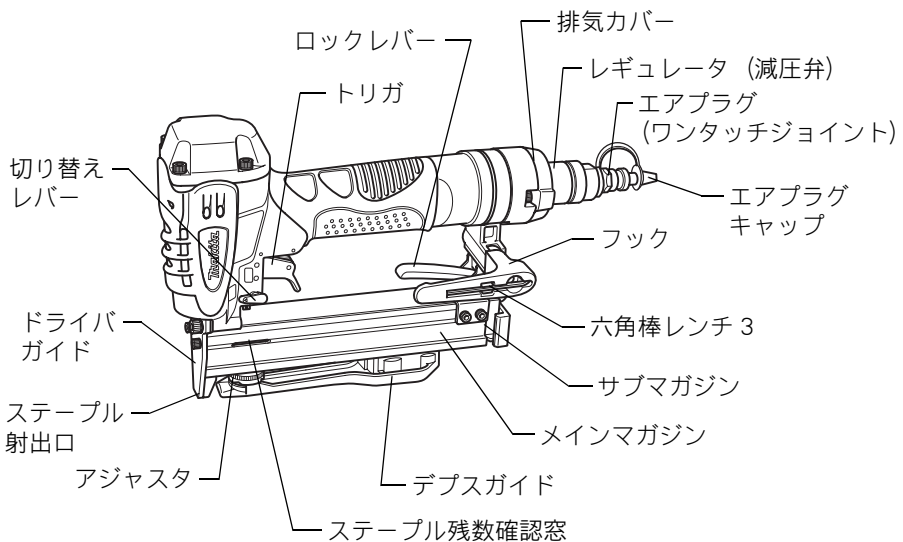
## ⚠ 警告

13. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
  - ・ ステープルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
  - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
15. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
  - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
  - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
  - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
18. 次の場合は、本機からエアホースをはずしてください。
  - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
    - 修理する場合。
    - ステープルを装てんする場合、また取り出す場合。
    - 作業中、本機を持って移動する場合。
19. レギュレータ（減圧弁）の打ち込み深さ調整をするときは、トリガをロックしてください。
  - ・ 誤ってステープルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
  - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
  - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
  - ・ 不完全な本機を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
  - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
  - ・ 確実に当てていないと、ステーブルがはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
  - ・ ステーブルの上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
  - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本機及びコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
  - ・ 本機及びタンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
  - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店または裏表紙掲載の当社営業所にお申し付けください。
  - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。
11. レギュレータ（減圧弁）の打ち込み深さ調整は⑦以下で使用してください。
  - ・ 深過ぎる調整は、本機損傷による事故の原因になります。

# 各部の名称および標準付属品



## 標準付属品

- ・ 油サシ (タービン油 JIS 2 種 ISO VG32)
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒レンチ 3 (本機取付)
- ・ プラスチックケース (モデル AT425HAK, AT1025HAK のみ)

## 別販売品のご紹介

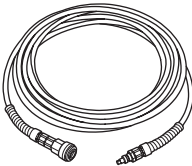
- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

- ・ **高圧スリックホース**

10m 巻 部品番号 A-46280

20m 巻 部品番号 A-46296

30m 巻 部品番号 A-46305

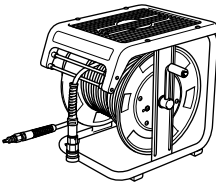


- ・ **高圧タフリール (本体のみ)**

部品番号 A-49242

- ・ **高圧タフリール 30M**

部品番号 A-49220



- ・ **スプレーオイル**

部品番号 A-46121



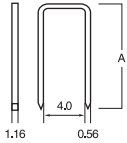
- ・ **プラスチックケース**

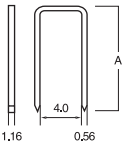
部品番号 158291-8



# 別販売品のご紹介

## ・ ステープル

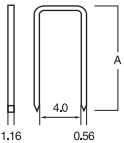
|             |   |         |         |         |         |
|-------------|---|---------|---------|---------|---------|
| 種類          | ステープル (幅 4mm)   |         |         |         |         |
| 材質          | 鉄   |         |         |         |         |
| 形状          |  |         |         |         |         |
| A (長さ mm)   | 13  | 16      | 19      | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80024   | F-80037 | F-80040 | F-80053 | F-80066 |
| 形式          | 413J  | 416J    | 419J    | 422J    | 425J    |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |         |         |
| 適用モデル       | AT425HA   |         |         |         |         |

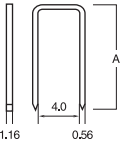
|             |   |         |         |         |
|-------------|---|---------|---------|---------|
| 種類          | ステープル (幅 4mm)   |         |         |         |
| 材質          | 鉄 (白)   |         |         |         |
| 形状          |  |         |         |         |
| A (長さ mm)   | 16  | 19      | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80079   | F-80082 | F-80095 | F-80101 |
| 形式          | 416J 白  | 419J 白  | 422J 白  | 425J 白  |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |         |
| 適用モデル       | AT425HA   |         |         |         |

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。



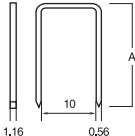
## 別販売品のご紹介

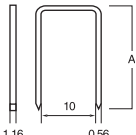
|             |   |         |         |         |         |
|-------------|---|---------|---------|---------|---------|
| 種類          | ステープル (幅 4mm)   |         |         |         |         |
| 材質          | ステンレス   |         |         |         |         |
| 形状          |  |         |         |         |         |
| A (長さ mm)   | 13  | 16      | 19      | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80442   | F-80114 | F-80127 | F-80130 | F-80143 |
| 形式          | 413JS   | 416JS   | 419JS   | 422JS   | 425JS   |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |         |         |
| 適用モデル       | AT425HA   |         |         |         |         |

|             |   |         |         |
|-------------|---|---------|---------|
| 種類          | ステープル (幅 4mm)   |         |         |
| 材質          | ステンレス (白)   |         |         |
| 形状          |  |         |         |
| A (長さ mm)   | 19  | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80156   | F-80169 | F-80172 |
| 形式          | 419JS 白   | 422JS 白 | 425JS 白 |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |
| 適用モデル       | AT425HA   |         |         |

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

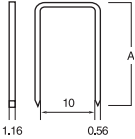
## 別販売品のご紹介

|             |   |         |         |         |         |
|-------------|---|---------|---------|---------|---------|
| 種類          | ステープル (幅 10mm)  |         |         |         |         |
| 材質          | 鉄   |         |         |         |         |
| 形状          |  |         |         |         |         |
| A (長さ mm)   | 13  | 16      | 19      | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80262   | F-80275 | F-80288 | F-80291 | F-80307 |
| 形式          | 1013J   | 1016J   | 1019J   | 1022J   | 1025J   |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |         |         |
| 適用モデル       | AT1025HA  |         |         |         |         |

|             |   |         |         |
|-------------|---|---------|---------|
| 種類          | ステープル (幅 10mm)  |         |         |
| 材質          | 鉄 (白)   |         |         |
| 形状          |  |         |         |
| A (長さ mm)   | 19  | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80455   | F-80468 | F-80471 |
| 形式          | 1019J 白   | 1022J 白 | 1025J 白 |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |
| 適用モデル       | AT1025HA  |         |         |

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

## 別販売品のご紹介

|             |   |         |         |         |         |
|-------------|---|---------|---------|---------|---------|
| 種類          | ステーブル (幅 10mm)  |         |         |         |         |
| 材質          | ステンレス   |         |         |         |         |
| 形状          |  |         |         |         |         |
| A (長さ mm)   | 13  | 16      | 19      | 22 ★    | 25 ★    |
| 部品番号        | F-80310   | F-80323 | F-80336 | F-80349 | F-80352 |
| 形式          | 1013JS  | 1016JS  | 1019JS  | 1022JS  | 1025JS  |
| 連結本数 (本)    | 100   |         |         |         |         |
| 1 ケース入数 (本) | 5,000   |         |         |         |         |
| 適用モデル       | AT1025HA  |         |         |         |         |

★印のステーブルは石こうボード等の軟質材料用。

# 使い方

## トリガロック装置

### ⚠ 警告

ステーブルを打つ時以外は、必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

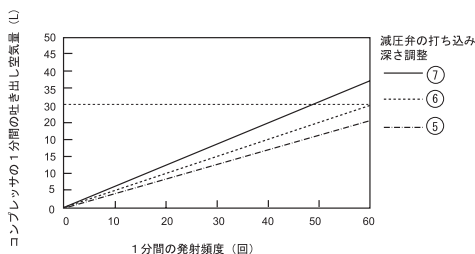
- ・ 本機はトリガロック装置を装備しています。切り替えレバーをロック（固定）の位置に合わせれば、トリガをロックすることができます。このとき切り替えレバーが確実にセットされていることを確認してください。



## コンプレッサの選定について

- ・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。

- ・ 右図は本機での発射頻度、レギュレータ（減圧弁）の打ち込み深さ調整とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、レギュレータ（減圧弁）の打ち込み深さ調整が⑥、発射頻度が1分間に約60回ですと、吐出し空気量30L/min（L/分）以上のコンプレッサが必要です。



## エアホースの選定について

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。  
※ 内径  $\phi 5.0\text{mm}$  以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

### 注

- ・ ステーブルの発射頻度にくらべコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

# 使い方

## コンプレッサ・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンク内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱(60℃以上)、薬品(シンナー、強酸、強アルカリなど)および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

## ステーブルの装てんについて

### ⚠ 警告

ステーブルを装てんする場合は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

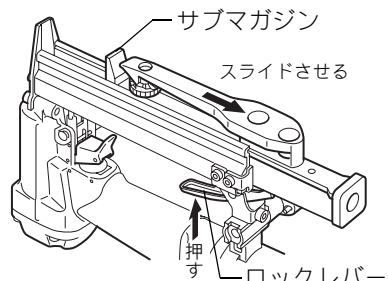
- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

### ⚠ 注意

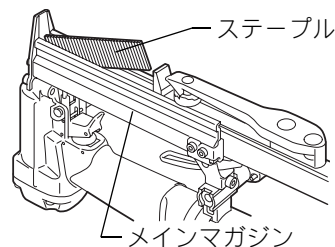
ステーブルを装てんした状態でサブマガジンを不用意に開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にステーブルが落下すると事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。



- ・ 次にステーブルの足を上にして、メインマガジンに入れてください。
- ・ サブマガジンを元に戻し、ロックレバーを掛けてください。



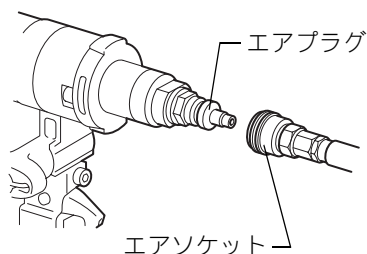
### 注

- ・ 指定以外のステーブルを使用しないでください。ステーブルやステーブルの連結が変形したものは使用しないでください。マガジン内に異なるサイズのステーブルを同時に装てんしないでください。
- ・ ステーブルづまり、故障の原因になります。

# 使い方

## エアホースの接続

- ・ トリガをロックし、本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



## 注

- ・ エアホースを接続した直後、レギュレータ（減圧弁）のリリーフ穴から一時的に空気が排出されることがありますが、これは故障ではありません。

## ステーブルの打ち込み深さの調整について

- ・ ステーブルの打ち込み深さ調整はデプスガイドによる調整とレギュレータ（減圧弁）で調整する方法があります。

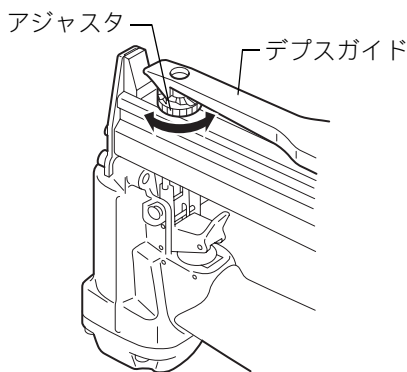
## デプスガイドによる打ち込み深さ調整について

### ⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

- ・ アジャスタを回転させると、デプスガイドの高さが 5 段階に変わりますので、ステーブルの打ち込み具合をワンタッチで調整できます。1 段階で約 0.6mm の調整が行えます。



# 使い方

## レギュレータ（減圧弁）による打ち込み深さ調整について

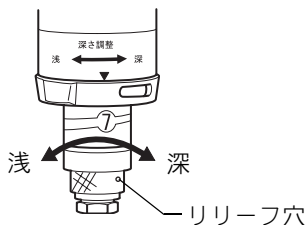
### ⚠ 警告

レギュレータ（減圧弁）で打ち込み深さ調整するときは、必ずトリガをロックしてください。

### ⚠ 注意

レギュレータ（減圧弁）で打ち込み深さ調整は⑦以下でご使用ください。

- ・ 高過ぎる圧力は、本機損傷による事故の原因になります。
- ・ レギュレータ（減圧弁）を回転させることでステーブルの打ち込み具合を調整できます。（▼印に数字を合わせます。）
- ・ レギュレータ（減圧弁）を「深」方向へ回し、⑦のとき打ち込み深さが一番深くなり「浅」方向へ回し数字が小さくなるにしたがって浅くなります。



## 注

- ・ レギュレータ（減圧弁）で打ち込み深さ調整するとき、レギュレータ（減圧弁）のリリース穴から一時的に空気が排出されることがありますが、これは故障ではありません。
- ・ レギュレータ（減圧弁）内にごみなどが入ると、レギュレータ（減圧弁）内の密封性が低下し、リリース穴から空気が排出しつづけることがあります。この場合は本機からエアホースをはずし再度エアホースを接続してください。数回繰り返しても空気がリリース穴から空気が排出しつづける場合は異常です。

# 使い方

## 空打ち防止機構について

### ⚠ 警告

サブマガジンを開くと空打ち防止機構が解除されますので、必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って空打ちした場合に事故の原因になります。

- ・ 本機はマガジン内のステープルが無くなると空打ち防止機構が作動してトリガが引けなくなり、空打ちを防止します。

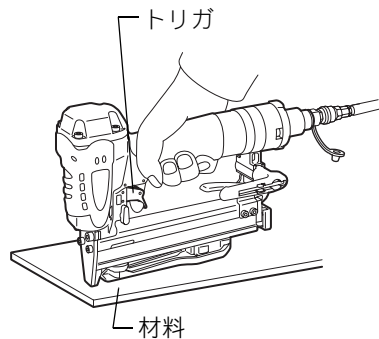
## 打ち込み方法について

### ⚠ 警告

必ず射出口を材料に当ててトリガを引いてください。

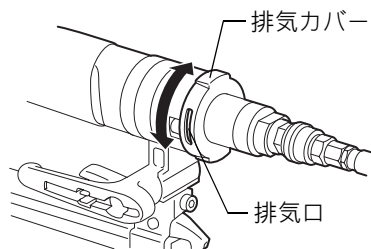
・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

- ・ 射出口を材料に当て、トリガを引いてください。ステープルが打ち込まれます。



## 排気の方法について

- ・ 排気の方法は排気カバーを手で回すことにより、360度回転できます。





# 使い方

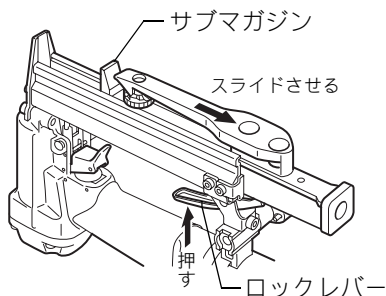
## ステーブル詰まりの直し方

### ⚠ 警告

作業に入る前に必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。射出口が露出しますのでつままったステーブルを取り除いてください。



## フックについて

### ⚠ 警告

フックを使用する場合は必ずトリガをロックし、本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。  
フックを腰のベルトなどにかけないでください。

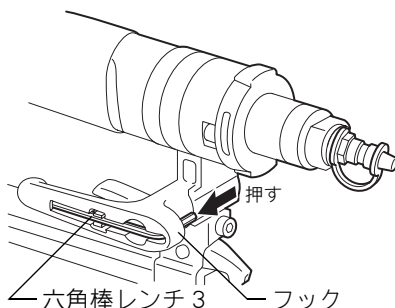
・ フックがはずれて本機が落下した場合、事故の原因になります。

フックの取り付けネジは、確実に締め付けてください。

・ フックがはずれて本機が落下したり、事故の原因になります。



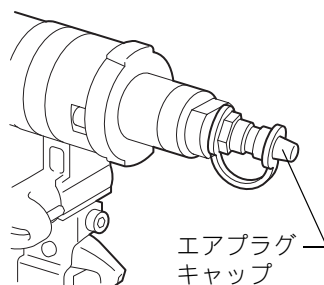
- ・ フックを利用すれば本機を一時引っかけておくのに便利です。本機に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。
- ・ 六角棒レンチ3は短い方の先端を押し、フックからはずしてください。



## 保守・点検について

### 作業後の保管

- ・ 本機内にごみやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときには、エアホースをはずし、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 作業後は防錆のためエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してから数回発射してください。
- ・ 湿気の多い所、直射日光の当たる所、粉じんの多い所は避けて保管してください。



### 純正オイルの使用

- ・ オイルは純正のオイルを必ず使用してください。作業終了後、これを行うことにより最良の状態を保つことができます。エアプラグより付属のタービン油を数滴注油してください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。



# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名    | 電話番号             | 事業所名    | 電話番号             | 事業所名     | 電話番号             |
|---------|------------------|---------|------------------|----------|------------------|
| 札幌支店    | (011) (783) 8141 | 東京支店    | (03) (3816) 1141 | 大阪支店     | (06) (6746) 7220 |
| 札幌営業所   | (011) (783) 8141 | 東京営業所   | (03) (3816) 1141 | 大阪営業所    | (06) (6746) 7220 |
| 旭川営業所   | (0166) (29) 0960 | 中野営業所   | (03) (3337) 8431 | 東大阪営業所   | (06) (6746) 7531 |
| 釧路営業所   | (0154) (37) 4849 | 足立営業所   | (03) (3899) 5855 | 南大阪営業所   | (0725) (46) 6611 |
| 函館営業所   | (0138) (49) 9273 | 大田営業所   | (03) (3763) 7553 | 奈良営業所    | (0742) (61) 6484 |
| 苫小牧営業所  | (0144) (68) 2100 | 江戸川営業所  | (03) (3653) 5171 | 橿原営業所    | (0744) (22) 2061 |
| 帯広営業所   | (0155) (36) 3833 | 多摩営業所   | (042) (384) 8411 | 和歌山営業所   | (073) (471) 4585 |
| 北見営業所   | (0157) (26) 9011 | 立川営業所   | (042) (542) 1201 | 田辺営業所    | (0739) (25) 1027 |
|         |                  |         |                  | 沖繩営業所    | (098) (874) 1222 |
| 仙台支店    | (022) (284) 3201 | 横浜支店    | (045) (472) 4711 | 兵庫支店     | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所   | (022) (284) 3201 | 横浜営業所   | (045) (472) 4711 | 三木営業所    | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所   | (0229) (24) 0698 | 川崎営業所   | (044) (811) 6167 | 尼崎営業所    | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所   | (017) (764) 4466 | 平塚営業所   | (0463) (54) 3914 | 神戸営業所    | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所   | (0178) (43) 3321 | 相模原営業所  | (042) (757) 2501 | 姫路営業所    | (079) (281) 0204 |
| 盛岡営業所   | (019) (635) 6221 | 湘南営業所   | (0466) (87) 4001 |          |                  |
| 水沢営業所   | (0197) (22) 5101 | 静岡支店    | (054) (281) 1555 | 広島支店     | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所   | (024) (932) 0218 | 静岡営業所   | (054) (281) 1555 | 広島営業所    | (082) (293) 2231 |
| いわき営業所  | (0246) (23) 6061 | 沼津営業所   | (055) (923) 7811 | 福山営業所    | (084) (923) 0960 |
| 福島営業所   | (0243) (22) 1204 | 浜松営業所   | (053) (464) 3016 | 三原営業所    | (0848) (64) 4850 |
|         |                  | 甲府営業所   | (055) (276) 7212 | 岡山営業所    | (086) (243) 4723 |
| 新潟支店    | (025) (247) 5356 | 金沢支店    | (076) (249) 5701 | 宇部営業所    | (0836) (31) 4345 |
| 新潟営業所   | (025) (247) 5356 | 金沢営業所   | (076) (249) 5701 | 徳山営業所    | (0834) (21) 5583 |
| 長岡営業所   | (0258) (30) 5530 | 七尾営業所   | (0767) (52) 3533 | 鳥取営業所    | (0857) (28) 5761 |
| 山形営業所   | (023) (643) 5225 | 富山営業所   | (076) (451) 6260 | 松江営業所    | (0852) (21) 0538 |
| 酒田営業所   | (0234) (26) 3551 | 高岡営業所   | (0766) (21) 3177 |          |                  |
| 秋田営業所   | (018) (863) 5205 | 福井営業所   | (0776) (25) 1911 | 高松支店     | (087) (867) 6411 |
|         |                  |         |                  | 高松営業所    | (087) (867) 6411 |
| 宇都宮支店   | (028) (634) 5295 | 岐阜支店    | (058) (274) 1315 | 徳島営業所    | (088) (626) 0555 |
| 宇都宮営業所  | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所   | (058) (274) 1315 | 松山営業所    | (089) (951) 7666 |
| 小山営業所   | (0285) (25) 5559 | 多治見営業所  | (0572) (22) 4921 | 宇和島営業所   | (0895) (22) 3785 |
| 水戸営業所   | (029) (248) 2033 | 松本営業所   | (0263) (85) 4751 | 高知営業所    | (088) (884) 7811 |
| 土浦営業所   | (029) (821) 6086 | 長野営業所   | (026) (225) 1022 |          |                  |
| 埼玉支店    | (048) (777) 4801 | 上田営業所   | (0268) (22) 6362 | 福岡支店     | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所 | (048) (777) 4801 | 飯田営業所   | (0265) (24) 1636 | 福岡営業所    | (092) (411) 9201 |
| 川越営業所   | (049) (222) 2512 |         |                  | 北九州営業所   | (093) (551) 3481 |
| 熊谷営業所   | (048) (521) 4647 | 名古屋支店   | (052) (419) 0561 | 飯塚営業所    | (0948) (26) 3361 |
| 越谷営業所   | (048) (976) 6155 | 名古屋営業所  | (052) (419) 0561 | 久留米営業所   | (0942) (43) 2441 |
| 前橋営業所   | (027) (232) 5575 | 豊橋営業所   | (0532) (46) 9117 | 佐賀営業所    | (0952) (30) 6603 |
| 高崎営業所   | (027) (365) 3688 | 岡崎営業所   | (0564) (72) 5150 | 長崎営業所    | (095) (882) 6112 |
| 向毛営業所   | (0276) (46) 7661 | 知多営業所   | (0569) (48) 8470 | 佐世保営業所   | (0956) (33) 4991 |
|         |                  | 一宮営業所   | (0586) (75) 5382 |          |                  |
| 千葉支店    | (043) (231) 5521 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 熊本支店     | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所   | (043) (231) 5521 | 津営業所    | (059) (232) 2446 | 熊本営業所    | (096) (389) 4300 |
| 市川営業所   | (047) (328) 1554 | 四日市営業所  | (059) (351) 0727 | 八代営業所    | (0965) (43) 1000 |
| 成田営業所   | (0476) (73) 8101 | 伊勢営業所   | (0596) (36) 3210 | 大分営業所    | (097) (567) 3320 |
| 木更津営業所  | (0438) (23) 2908 |         |                  | 宮崎営業所    | (0985) (26) 1236 |
| 柏営業所    | (04) (7175) 0411 | 京都支店    | (075) (621) 1135 | 鹿児島営業所   | (099) (267) 5234 |
|         |                  | 京都営業所   | (075) (621) 1135 | 沖繩営業所    | 大阪支店の欄をご覧ください。   |
|         |                  | 福知山営業所  | (0773) (23) 7733 |          |                  |
|         |                  | 大津営業所   | (077) (545) 5594 | 関東物流センター | (048) (771) 3451 |
|         |                  | 彦根営業所   | (0749) (22) 6184 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882286C6